

歴史ある会社だからこそ考える「働き方改革」



川島商事 株式会社

住所	〒456-0011 名古屋市熱田区花町1番20号		
従業員数	118名	資本金	3,000万円
業種	卸売業	創業	1917年
HP	http://www.kawashima-shoji.co.jp/		

企業ご紹介

創業以来100年以上に渡り、工業ゴム・樹脂・プラスチック製品の販売を基盤とし、運搬ベルト・伝動ベルトの設計・製作、重量物・大量搬送分野から工場の分野まで幅広く対応し工業ゴム業界のニーズに答えています。

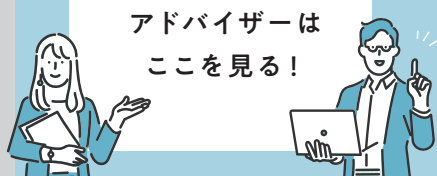
抱えていた
課題について

従業員の働き方に対するニーズを捉え切れず、社内でも様々な働き方に対する理解も進んでいなかった。そういった状況の中、以前は採用で苦労したことがなかったが、近年は応募者数が減少し、採用しようとしても労働条件で折り合いが見つからないが増えている。

課題の
ピックアップ

- 01 多様な働き方についての情報・知識が不足している**
勤務時間、勤務体系は創業時からあまり変わらないままであったが、近年採用活動がうまくいっていないことから、新たな働き方の制度導入の必要性を感じている。しかし制度を導入するための情報・知識が不足している。
- 02 働きやすい職場環境とするための仕組みがない**
社内会議は結果報告が中心となっているなど、従業員から働き方に対して意見を収集する機会が少ない。一部で長時間労働が発生している部署もあり、従業員のニーズも考慮したうえで、働き方に関する制度を整備する必要がある。
- 03 育児・介護に対する従業員の潜在的ニーズを把握できていない**
育児中の従業員は把握できても、介護中の従業員やその他配慮が必要な従業員の把握できていない。従業員の年齢構成から考えると3人に1人は今後介護をしなければならない事情を抱える可能性がある状況であるのに、従業員が安心して長く働いてもらうための対策ができていない。

課題の解決に向けて



アドバイザーは
ここを見る！

現状で大きな問題が発生していない場合、今の制度を変える事について慎重になるケースがよく見受けられます。会社をさらに良くするには現状だけでなく将来の視点で従業員の不安解消、離職への防止策を打つ必要があります。何事も試行錯誤して進める考え方が重要です。

取り組み

- 01 取り組むべき多様な働き方の方向性を確認**
アドバイザーにより社長を含む全役員に、中小企業が抱える問題と取り組むべき多様な働き方導入のポイント・制度内容の説明会を行った。そのうえで自社の従業員の直近の残業時間や年齢構成などのデータを捉えながら、制度導入の必要性を確認した。
- 02 面談による意見収集と今後のノウハウ蓄積を目指す**
従業員と面談を行い現状把握及び意見収集を行った。今後も従業員アンケートや付箋会議などの手法を検討し、働き方を中心とした意見について定期的に集めていくためのノウハウを蓄積していく。
- 03 短時間正社員制度の導入に向けた検討**
従業員が抱える事情について会社と共有しやすい仕組みづくりに着手し、従業員が安心して長く働くことができる企業を目指す。また育児・介護や疾病を抱える従業員を対象に、短時間正社員制度の導入を検討。正式導入後には採用活動でも全面的に打ち出し、多様な人材の獲得を目指す。



アドバイザー
から

今後の日本はますます人口減少が進みさらに採用困難な時代になるからこそ、育児・介護問題への不安を解消し今の従業員を守ってあげる考え方が必要です。特に介護経験のない方には先が見えない介護の苦労は想像が付きません。短時間正社員制度を導入し、従業員の皆さんへ発信することで安心してイキイキと働く環境をつくることは、採用活動にも繋がります。

達成した結果

「不易流行」の考えで働き方を見直す第一歩へ

人と人のつながりを基本とし、お客様の悩みを解決するという企業ポリシーを守りながら、多様な働き方を取り入れる第一歩とすることができた。今後さらに進む採用・定着の問題に対応するための新たな制度の重要性を役員と共有し、従業員の声を吸い上げる環境を構築することができた。

企業の声



総務部・経理部 室長 川島 大輝 様

創業から長く続く会社として良いところもありますが、変わらないといけなこともたくさん出てきています。会社全体、特に経営陣が新たな知識を得て、会社全体で意見を出し合いこれからの「働き方」を考えていく場づくりの非常に良いきっかけとなったと思っています。